

第8回全国書写書道総合大会
令和元年度全国硬筆コンクール

【文部科学大臣賞】

福岡県・一般
加納 美奈

きれいな字にあこがれて始めた硬筆

「文部科学大臣賞」という名誉ある賞を頂き、驚きと感謝の気持ちでいっぱいです。

今回の作品は、基本を一番に考え文章を理解し「作品」の余白と字のバランスに気を付け取り組みました。

以前は、字の形に気を取られ全体を見る余裕がありませんでしたが、先生方の的確なアドバイスで視野を広くもつ事が出来る様になりました。また、精神的にも支えて頂いた事が一番の力と励みとなりました。

講習会に参加した際は、先生方の熱心な指導で自然と意識も向上し「もっと上達したい。」という気持ちが強くなった事で、今までのコツコツと積み上げた練習の成果が結果に繋がったのだと思います。

硬筆を始めたきっかけは、子供の学校に提出する書類を書く文字にクセがあり、自信を持って書く事が出来ませんでした。その為、綺麗な字に憧れ習い始めたのが書き方との出会いです。

長年で身に付けたクセ字は、すぐには直らず苦戦する日々でしたが、初めてのコンクールに出品した際、金賞を頂き徐々に自信へと繋がりました。

この賞を頂いた事で、何歳からでも習い始めるのに遅くないと思った瞬間です。

今の世の中は、携帯電話やパソコンのメールで済ませる事が多いのですが、パソコンで打つなどは文字だけの世界なので誤解を生じやすくなっていると感じる事があります。手書きで心を込めて書く事で、自分の気持ちが相手に伝わりやすくなります。

手書きの良さを伝えていければと思います。

最後になりましたが、審査にあられた先生方に心から御礼を申し上げます。より一層精進して参りたいと思います。ありがとうございました。